

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	普通学級介助員派遣事業			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 3 児童・生徒指導事業費
-----	----------	-----------	-----------	-----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	通常学級に在籍している介助を必要としている児童・生徒	→ 介助を必要とする児童・生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	介助を必要としている児童・生徒が、安全に学校生活を送ることができる。	→ 安全に学校生活を送ることができた児童・生徒数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	介助員を採用し、当該通常学級に配置する	→ 介助員勤務日数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	0	1	4	
	成果指標	②の数値	人	0	1	4	
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	
		目標設定の考え方	介助が必要な児童・生徒の安全を確保する				
	活動指標	③の数値	日	0	132	757	

3 経費	事業費(実績)		円	0	867,035	3,869,507	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	867,035	3,869,507	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	826,700	1,692,335	4,693,907		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	就学相談の結果、介助を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍することとなったことを契機に、事業を開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	対象となる児童・生徒の身体状況、入学、進級、卒業、及び支援の内容により、経費の増減がある。

仕 事 の 内 容	普通学級介助員派遣事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 一律的な対応は難しく、個別対応となるため、介助員も看護師資格が必要であったりと、ケースバイケースの対応となってしまふ。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ケースバイケースの対応とならないよう、介助員をつけるための統一的な判断基準等を検討する必要がある。				
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 介助員配置の基準を作成する必要がある。				
8 今後の方向性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 特になし				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
	成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。